

平成28年度事業計画

【基本計画】

日本の人口は、平成20年の1億2,808万人をピークに、減少が始まっています。人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、同年12月には「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

この「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「生涯現役社会の実現に向けた高齢者の就業促進」が盛り込まれ、厚生労働省は平成27年度から「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を予算化しました。

また、平成28年1月22日に行われた首相の施政方針演説においても、高齢者に多様な就労機会を提供すると述べられており、高年齢者雇用安定法等の改正が予定されています。

改正案の内容は、平成27年10月の労働者派遣法改正に相まってシルバー派遣事業を推進する内容であり、厚生労働省がシルバー派遣事業を強力に推進していることが窺えます。

これまで、当センターにおいては、平成25年度にコンプライアンスの観点から業務を精査し派遣に切り替えたものを含め、派遣事業を拡充してきました。

現在、シルバー派遣事業の契約高は県内トップですが、平成28年度につきましても、これまで以上に派遣事業を推進します。

一方、コンプライアンスの観点から業務を精査した結果、請負契約が減少しています。

そうしたことから、派遣事業とともに請負についても就業開拓を強化します。

また、独自事業の拡充を図ることにより、センター独自の就業機会の確保に努めていきます。

また、市から指定管理者を委託されている「老人憩いの家」4荘と自転車駐車場14箇所については、より一層安全で安心して利用してもらえる魅力ある施設を目指して、リピーターを増やすとともに新たな利用者の獲得に努めます。

次に、毎年理事長が掲げている年度スローガンは、社会の動きをしっかりと受け止め、シルバーに対する大きな期待に応えるため、「生涯現役」に決まりました。

センターは、このスローガンの目的達成のため、様々な場所で様々な機会を捉えて会員に周知します。

センターは、笑顔で就業して笑顔で帰宅するという日常が如何に大切なことかを考え、就業中の事故を限りなくゼロに近づけるため安全就業に関する講習会や研修会を引き続き実施し、就業先を訪問して事故ゼロ運動の強化を図っていきます。会員のために何を思い、何をしなくてはならないかを常に考えていきます。商工会議所や社会福祉協議会等の地域との繋がりを強化しつつ、新たなことにも積極的にチャレンジしていきます。

そして、多様化する顧客のニーズに対応した就業の確保に努めるため、次の事業を目標に向かって進めます。

【実施計画】

1. 本年度の目標契約高 **7億8千万円**
(内、労働派遣事業 5千万円)

2. 本年度の目標就業率 **75%**

3. 組織の充実

役員組織を見直し、理事7人が各委員会（総務委員会、会員活性委員会、地区活動委員会、広報委員会、就業推進委員会、職群班委員会、安全推進委員会）を受け持ち、各所管の課題に取り組みます。この7人の理事に副理事長が加わり、事業推進委員会を構成します。事業推進委員会では、7つの委員会から課題を報告し合い、意見を交換します。事業推進委員会で情報共有化と共通認識を図ったうえで、理事会でセンターの施策として事業化に向けた協議を行います。

☆安全就業の徹底

センターでは、安全が最優先を大原則に、事故ゼロを目指して安全就業に向けた組織の強化を図っています。そのためには、安全就業に対する会員の意識の向上はもとより、会員自らの健康管理についても自己責任において管理する必要があります。特に7月は全国的な規模で安全就業を見直す強化月間であることから、安全宣言を行い、安全就業の啓発に取り組むことや就業先に出向き安全就業の実態を調査することにより、より一層の安全就業に繋がります。

☆就業機会の開拓と派遣事業の推進

請負契約と派遣契約それぞれの性質に応じて就業開拓を行っていきます。

民間派遣会社に比べたシルバーのメリットをPRして派遣事業を推進します。

なお、会員が持ち合わせた豊かな技能や経験を生かしていくため、会員データベース登録による職群班編制を活用して、就業機会をタイムリーに生かしていきます。

☆次期「中・長期基本計画」の策定

現行「中・長期基本計画」の中間報告以降の検証を行った結果、把握した課題をもとに、次期「中・長期基本計画」の策定を進めます。

☆市から受託している指定管理業務の強化

「老人憩いの家」4荘については、利用者が順調に伸びており、リピーターの利用も多くあり、好評を得ています。さらなる利用者の獲得に努めます。

自転車駐車場については、民間の小さいスペースを利用した無人の駐輪場が増えてきました。その結果、売り上げが伸びず苦慮していますが、挨拶やきめ細かなサービスを提供することにより、無人の駐輪場ではできないサービスで売り上げの向上に努めます。

☆研修・講演会の充実

発注者の様々な就業依頼に応えるため、職群班ごとにマニュアルの作成や研修を行い、会員の資質向上に努めます。

また、センターの普及啓発とともに、会員との交流と情報交換の場として、地域の誰もが自由に参加ができる公開講演会を引き続き実施します。

☆広報・ホームページの充実

会員に対する情報提供や情報交換は、センターの運営を円滑にする手段として欠かせません。

リアルタイムに情報が得られるホームページの役割は、会員のみならず一般市民や企業など顧客にとっても大切です。

センターでは、広報やホームページの作成・更新を会員が率先して行い、誰もがいつでもフレッシュな情報を得られるようコンテンツの充実を図っていきます。

☆地域との連携

センターには、市の行政区と同じ11の地区があり、それぞれが地区文化祭への参加など、地域との連携を図りながら活発な地区活動を展開しています。

また、市からの受注で広報誌を各戸配布していますが、配布の過程で気づいた地域の情報は、地域の包括支援センターに報告すると同時に、みまもりネットワークを推進する一員として地域の自治会組織とも連携を図っていきます。

☆その他

会員の親睦団体である悠和会は、会員同士の横の繋がりに、なくてはならない団体です。

センターの会員であると同時に市民でもあるその存在は、組織の運営には欠かせません。会員同士の情報交換等で地域に貢献しています。

平成28年度

公益社団法人 所沢市シルバー人材センター

スローガン

生涯現役

生きがい作りを通して社会の役に立つ

存在として頑張っていこう!

(1) 健康シルバー

健康は日本が抱える最大の課題。膨らみ続ける医療・介護費用の削減につなげよう!

(2) 明るい職場作り(挨拶の励行)

必ず笑顔と大きな声で挨拶し、気持ちよく一日をスタートしよう!

(3) 報・連・相の実行

各事業で、報告・連絡・相談を実行しよう!

(4) 安全就業の徹底

(イ) 就業前後の5分間、危険予知トレーニング(KYT)を必ず行おう!

(ロ) ハインリッヒの法則、ヒヤリ・ハットをなくそう!

(ハ) うっかりミスをなくそう!

(5) 「なら・しか」のプロになろう

市民に喜ばれる「シルバーなら…」「シルバーしか…」という対応をしよう!

理 念

自主・自立、共働・共助

理事長 森 澤 弘